

坂の上通信

令和元年九月十日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

体育祭種目3割減

熱中症などの予防のため

9月13日(金)、令和最初の体育祭となる第32回体育祭が開催される。しかし熱中症予防などの理由から削減される種目もあり、全体的に縮小せざるを得ない状況だ。各方面に話を聞いた。

種目の見直しは毎年行われているが、今年度は約3割の種目が削減された。昨年度まであった短距離走やクラ



今年も行われない「獲物を狙え」(写真は昨年度のもの)

体育委員長の言葉

体育委員長の菊崎さん(2年6組)に、体育祭への意気込みを聞いた。

委員長として体育祭を迎えるのは初めてで緊張しますが、全力で頑張ります。競技につ

いては、みんなでも盛り上がった全員リレーがなくなり、その点は残念です。

1年生は高校生初めての体育祭。各種目全力で取り組み、友達の応援や係の仕事、先輩の姿を見逃さないよう頑張ります。2年生は一番の見せ場であるダンスがあります。みんなで練習してきた演技をしっかりと見せたいです。3年生は高校生最後の、美高体育祭の見どころでもある民謡があります。浴衣姿で、最高の青春を飾ってください。

昨年度の体育祭プログラム

種目名	選手	今年
マーチング・開会式	吹奏楽部・全員	
1 準備体操	全員	1
2 短距離走	2男女	
3 クラス全員リレー	1全	
4 綱引き	3男女	4
5 長縄跳び	1 2 3男女	
6 クラス対抗リレー(女) 予選	1 2 3女	2
7 3人4脚	2男女	
8 クラス対抗リレー(男) 予選	1 2 3男	3
9 フォークダンス(*)	2全	11
10 獲物を狙え	1男女	
11 部活動対抗リレー(*)	希望する運動部	8
(昼休憩)		
12 民謡	3全	9
13 短距離走	1男女	
14 騎馬戦	2男	5
15 クラス対抗長縄跳び	1全	10
16 ムカデ競走	3全	7
17 クラス対抗リレー(女) 決勝	上位2	13
18 クラス対抗リレー(男) 決勝	上位2	12
19 台風の日	2女	6
20 紅白対抗リレー	男女選抜	
閉会式	全員	

- ・赤の列は、今年度行わない種目
- ・(*)の種目は一部を行わない種目。
- ・「今年」の欄は、今年度の体育祭でのプログラムの順番を示す。(赤字が午前中、青字が午後のもの)

また、部活動対抗リレーは運動部のみとなり、文化部を中心とした活動の紹介の場であるパフォーマンスを含めたりはなくなりました。2年生のダンスも各クラスの創作ダンスのみとなり、昨年度までの「コロブチカ」などのフォークダンスはなくなりました。

に短縮。終了予定時間は、昨年の15時30分に対して13時と変わっています。大きく短縮された体育祭だが、その理由について、校長先生は次のように述べられた。「ここ数年9月でも気温が上昇しており、熱中症の危険も高まってきています。そのため最近では、運動会などの行事を短縮している小中学校も少なくありません。本校でも生徒の健康が一番大切だと考え、短縮という形となりました」



「全国で広がる「半日運動会」」
運動会を半日に短縮する小中学校が全国的に増えている。暑さ対策や授業時間の確保などがその理由だが、賛否両論あるようだ。

熱中症など子どもの安全面を考えると賛成する声も多いが、家族とお弁当を食べる時間が増えるという声もあがっている。ちなみに名古屋では、半日運動会を実施する市立小学校は全二百六十一校のうち6割にあたる百六十四校で、昨年の十三校から十倍以上に急増している。

暑さ指数って何だろう?

WBGT(暑さ指数)は、人体に影響する湿度、輻射熱、気温の三つを取り入れた指標のことだ。地面から1m離し、日陰で測定すると結果が出る。保健室では毎朝測定し、教室前に掲示している。運動のレベルが「ほぼ安全」

全・注意・警戒・厳重警戒・原則中止」の5段階に分けられている。最近「警戒」の日が続いているが、8月には運動が禁止レベルとなる高い数値が出る日も多かった。



保健室の福島先生は「活動前は自分の体と」

美・鈴・鈴・鈴

運動会の始まりは明治初期。イギリス人英語教師のフレデリック・ウィリアム・ストレンジが考案した「競闘遊戯会」が最初だといわれている。これは海軍兵の学校で行われたもので体力比べを目的としていたそう。競闘の中にも、今で言う「短距離走」や「玉投げ」などがあつたよう

編集後記

青春の思い出となる体育祭。安全面に十分に注意しながら、悔いの残らない一日にしよう。

増えているが、このまま消えてしまふのは残念だ。時代に合わせながら、ぜひとも残してほしい行事の一つだ。生徒の皆さんは、運動会に込められた願いのことを思いつつ、クラスの友達と協力しながら高校の体育祭を楽しみ、戦って欲しい。(福田紫乃)